

「笑顔であいさつ 気づき 考え 実行する 大崎小の子」



創立 152 周年

せせらぎ

児童数：316名
 住所：首於郡大崎町假宿910
 電話：099-476-0027
 FAX：099-476-3189
 ※ 大崎小HPは、役場HPからアクセスしてください。

大崎町立大崎小学校 学校だより **令和4年11月号**

人権について考えよう 校長 下吉 靖孝

学校では、11月21日(月)から11月30日(水)までを、「校内人権旬間」と定め、全児童で考える人権集会や講師をお招きしての人権教室、「自分や友達のいいところを見つけようカード」など様々な取組を実施する予定です。また、12月4日(日)から10日(土)は世界人権週間。最終日の10日は世界人権デーとなっており、世界中で人権について考える日となります。

皆さんは、「人権」とは何と聞かれ、何と答えますか。何か難しいなあと感じる方もいるかもしれません。人間が人間らしく幸せに生きるための権利を誰もがみな持っています。でも、社会の中のいろいろなところで差別を受けて悩み苦しんでいる人たちがいます。なぜでしょう。「人権」って何なのか、そしてお互いの権利を尊重し合うことについて、今一度考えたり話し合ったりすることが大切です。

人権について考えると思ひ出すことがあります。15年ぐらい前に、星塚敬愛園の上野正子さんと玉城しげさん(故人)をお招きして、ハンセン病についてご講演をいただいたことがあります。ワゴン車で来られ降りる際に座席が少し高かったのでしょうか、降りにくそうにされていました。私は、「お手伝いしましょうか。」と声をかけ手を差し出すと、「ありがとう。」と言って私の手をつかみ座席から降りられました。その後、上野さんが嬉しそうに言った言葉は、「しげさん、初めて手を握って車から降ろしてくれたよ。時代も変わってきているのかね。」というものでした。私はそれを聞いて、今までであった差別を想像し、残念で悲しい思いと、喜んでいただいたことへの嬉しい思いが心の中で交錯し、複雑な気持ちになったことを思い出します。その後、星塚敬愛園にも何度か行き、目の前で作っていただいたアンダギーを食べたことも思い出します。1998年に国家賠償訴訟を初めて起こした14人の原告の中のお二人です。想像を絶するような差別を受けてこられました。それにも負けず、正面から戦い、そして、差別解消や正しい理解に向けて講演などを精力的に行う姿は本当に感銘を受けました。2017年3月16日玉城しげさんは、98歳で生涯の幕を閉じられました。衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

私も、この原稿を書く中で、少しでも差別をなくすために、私にできることをこれからも続けていきたいと改めて思うことでした。

集団宿泊学習(5年生)



10月11日(火)～13日(木)の2泊3日の日程で、大隅青少年自然の家にて集団宿泊学習が行われました。5年生の子供たちは3日間、様々な活動を通して、集団生活における大切な学びを行うことができました。それらを今後の生活にしっかり生かし、立派な高学年として活躍していけることを期待しています。

11月(後半)～12月の行事

11月	22日(火)	人権集会
	23日(水)	祝日「勤労感謝の日」
	24日(木)	人権教室(1～4年) PTA 家庭学習推進委員会
	30日(水)	読み聞かせ(1年) 人権教室(5・6年)
12月	1日(木)	県自殺対策強化普及啓発事業講演会(5・6年)
	2日(金)	親子読書読み聞かせ PTA教育講演会, 学級PTA
	5日(月)	家庭学習チェック週間(～11日)
	7日(水)	読み聞かせ(3年)
	8日(木)	認知症サポーター養成講座(5年)
	10日(土)	コミュニティの日 持久走大会
	14日(水)	読み聞かせ(5年)
	17日(土)	PTAミニ門松づくり
	21日(水)	読み聞かせ(4年)
	22日(木)	カピックセンター出前授業(5・6年)
23日(金)	終業式(給食あり)	

SDGs 講演会



11月7日(月)に、南極観測隊員で東京大学環境学博士の大岩根尚先生を講師にお招きし、5・6年生へSDGsに関する講話をいただきました。大岩根先生の講話を通して、深刻化している環境問題の現状を知ることができ、大崎町で生活している自分たちが日頃から行っている取組の価値や意味について気付くことができました。